

証明書(意見書) (医師記入)

第二福田保育園 施設長殿

園児氏名

年 月 日生

(病名) (該当疾患に☑をお願いします。)

<input type="checkbox"/>	麻しん (はしか)
<input type="checkbox"/>	風しん
<input type="checkbox"/>	水痘 (水ぼうそう)
<input type="checkbox"/>	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)
<input type="checkbox"/>	結核
<input type="checkbox"/>	咽頭結膜熱 (プール熱)
<input type="checkbox"/>	咽頭性角結膜炎
<input type="checkbox"/>	百日咳
<input type="checkbox"/>	腸管出血性大腸菌感染症 (O157,O26,O111等)
<input type="checkbox"/>	急性出血性結膜炎
<input type="checkbox"/>	侵襲性髄膜炎菌感染症 (髄膜炎菌性髄膜炎)

症状も回復し、集団生活に支障がない状態になりました。

年 月 日から登園可能と判断します。

年 月 日

付記

医療機関名

医師名

※必ずしも治癒の確認は必要ありません。意見書は症状の改善が認められた段階で記入することが可能です。

※かかりつけ医の皆さまへ

保育所は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発症や流行をできるだけ防ぐことで、一人一人の子どもが一日快適に生活できるよう、上記の感染症について意見書の記入をお願いします。

※保護者の皆さまへ

上記の感染症について、子どもの症状が回復し、かかりつけ医により集団生活に支障がないと判断され、登園を再開する際には、この「意見書」を保育所に提出してください。

<参考> 令和6年度公立園で配布予定です。 令和6年1月22日私立園長会
 ・新型コロナウイルス感染症を追記してください。(令和5年4月の園長会でお知らせ済みです。)
 ・溶連菌感染症、伝染性膿痂疹(とびひ)は、「登園するときに書類は、不要だが医師の指示に従って登園」とすることができます。

<確認のお願い>

・重要事項説明書等の次の文言を使用されている園は、改訂の機会がある時に訂正をお願いします。(以前は使用されていた文言ですが、現在は使用されていません。)

伝染病 → 感染症
 治癒証明書 → 証明書又は意見書

■園で流行しやすい感染症

病名	登園のめやす	登園するときに必要な書類	
麻疹(はしか)	解熱後3日を経過してから	証明書 (意見書)	
風疹(三日はしか)	発疹が消失してから		
流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	耳下腺、顎下腺、舌下腺の腫脹が発現してから5日を経過し、かつ全身状態が良好になるまで		
水痘(水ぼうそう)	すべての発疹がかさぶた化してから		
咽頭結膜熱(プール熱)	主な症状(発熱、充血等)が消失した後、2日を経過するまで		
腸管出血性大腸菌感染症(O157、O26、O111等)	医師により感染の恐れがないと認められるまで。(無症状病原体保有者の場合、トイレで排泄習慣が確立している5歳児以上の小児については出席停止の必要はなく、また、5歳未満の子どもについては、2回以上連続で便から菌が検出されなければ登園可能である)		
流行性角結膜炎(はやり目)	結膜炎の症状が消失してから		
急性出血性結膜炎	医師により感染の恐れがないと認めるまで		
百日咳	特有の咳が消失するまで又は適正な抗菌性物質製剤による5日間の治療を終了するまで		
結核	医師により感染の恐れがないと認めるまで		
髄膜炎菌性髄膜炎(侵襲性髄膜炎菌感染症)	医師により感染の恐れがないと認めるまで		
溶連菌感染症	抗菌薬内服後24~48時間経過していること		※溶連菌感染症、とびひは医師の判断による
伝染性膿痂疹(とびひ)	医師の判断による		
インフルエンザ	発症した後5日を経過し、かつ解熱した後3日を経過すること		× 不要だが医師の指示に従って登園
新型コロナウイルス感染症	発症した後5日を経過し、かつ、症状軽快後1日を経過すること		
マイコプラズマ肺炎	発熱や激しい咳が治まっていること		
ウイルス性胃腸炎(ノロ、ロタウイルス等)	嘔吐・下痢等の症状が治まり、普段の食事がとれること		
RSウイルス感染症	呼吸器症状が消失し、全身状態が良いこと		
伝染性紅斑(リンゴ病)	全身状態が良いこと		
突発性発疹	解熱し、機嫌が良く全身状態が良いこと		
ヘルパンギーナ	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること		
手足口病	発熱や口腔内の水疱・潰瘍の影響がなく、普段の食事がとれること		
帯状疱疹	すべての発疹がかさぶた化してから		

※伝染性軟属腫(水いぼ)・アタマジラミについては、医師に相談してください。